

いつもお世話になっております。インティです。

A f t e r コロナという言葉が飛び交っています。「コロナが収束した後の世界」という意味です。一体これからどうなるのか？

イタリアでは医療崩壊し、病院では「命の選別」が行われました。コロナ発症患者が運ばれてきても、ある一定年齢よりも上の高齢者だと治療をしない。テレビインタビューで医師はこう発言しておりました。

「治療をしなければその患者はどうなるか。それは医師だからよく分かっている。しかし呼吸器もベッドも医薬品も足りていないのだ。助かる可能性の高い若い患者から救うしかない」それが実情だったみたいです。コロナ後の世界は、「命のあり方」も議論されるでしょう。

そんな壮大なテーマでなくても、では飲食店においてはどうか？
何が変わり何が変わらないのか？ 皆様は如何お考えでしょうか？



【コロナ後の世界】

●衛生管理

日本は他国に比べると、コロナウィルスの感染者・発症者・死亡数とも少なかったですね。その一番の要因は、日頃から手洗いの習慣など衛生観念が進んでいた事があげられる様です。欧米では、握手やハグが日常習慣であり感染拡大を招いたとされています。原因が何かはさておき、コロナ収束後も間違いなく言える事は、これからもより強く衛生管理が叫ばれるという事です。当たり前の様にマスクと消毒液の需要は続くでしょうし、「衛生管理が大切」という概念は今回の事で、日本人の奥底までしみ込んだと思います。

飲食店様においても、これまでの「厳選された食材、高い技術力、笑顔での接客、お酒・器・店舗のこだわり…」という従来のウリに加えて「衛生管理の徹底」が要因のトップに挙げられる時代に変化するのかもしれない。

衛生管理に関する「表彰状や認定書」など、ぜひ店内に掲示いたしましょう。当店で可能な限りの衛生管理アピールを検討される事をお勧めします。



『私は昔から色々な事で悩んだ時には、店の隅々まで一人で掃除をする事にしています。すると不思議に状況が好転してゆくのです。ですから、当店では、常に清潔第一を心がけております。お客様によく、お料理だけではなく、店や調理場が綺麗だとお褒めの言葉を頂きます。何故ならば自分達を律する気持ちが、そのまま味に出るからです』

・・・こんな語りかけも大事だと思います。

●人と人との繋がり



東日本大震災の時、「人と人との繋がり」の大切さを思い知らされた方は多く、その年の漢字一字が『絆』だった事は多くの人々の記憶に残っていると思います。しかし、大震災と言っても、実際に被害に遭われたのは、限定された地域の方だけでした。しかし、今度のコロナ騒動は違います。日本中の、いえ世界中の人が遭難しました。その中で、やはり身に染みて叫ばれているのが、「人と人との繋がり」です。家族や友人知人の大切さ、本当に応援して下さいる人の存在の有難さです。**今回の事で、「家族や友人の大切さ」を思い知らされた方も多いのではないのでしょうか。**

飲食店においても、「家族割」とか、「ご家族や友人と一緒に来てくれた人には〇〇サービス」などを考えても良いのかな・・・と思います。また、従来以上に「お誕生日や結婚記念日」に注力されても良いかと思います。

春ならば入学卒業・歓送迎会など、秋ならば敬老会・秋の行楽など、これまで以上に**家族・友人・同僚の和みの宴席に当店をご利用いただくアプローチを試みましょう。**



余談ですが、

あるエステサロンではスタッフに「母の日施術券」をプレゼントされているそうです。その券を持って、スタッフのお母様がお来店になられると、そのスタッフ自らが施術を担当されます。

100%お母様は喜ばれます。その姿を見て、スタッフもその機会を下さった勤め先のサロンに感謝されます。

娘(息子)の職場環境・仕事ぶりが気にならない親はいません。「行ってみたい・・・でも私なんか・・・迷惑かもしれないし・・・」そんな風に思ってしまう。

しかし「母の日施術券」をプレゼントされると、その娘の想いを無碍にする気にはならないのです。そしてご来店になると、娘(息子)の職場仲間からも「よくお越しになりました！」と満面の笑顔で迎えられ、人生で初めて最後かも知れない娘自身による施術が始まります。

私はこの話を聞いた時、何かそこからとても良い事が始まるような気がしました。ひとアレンジして、飲食店でもできる事は無いだろうかと考えました。

こんな風な「絆」づくりが、A f t e r コロナの世界では重要になってきそうな気がします。

●自宅文化

自宅待機が続くと生活文化も変わってきますね。当時は私も、自宅でパソコンに向かっている時間がとても長くてしんどかったです。でもテレワークも慣れてくれば「なーんか大半の仕事は自宅でもこなせるな」なんて思いました。（もちろん飲食店様の場合は少し違うでしょうけど）

インターネットを活用しての会議も増えました。スカイプ・ズーム・モーラ・L I N Eなどで行います。会議だけでなく、インターネットを使っての「飲み会・食事会」も流行りましたね。なんと、テレビ会議システムを使って入社式をされた会社もありました。コロナ後の世界は、今までよりもインターネットを駆使した世の中になるものと思われま



自宅待機中、芸能人も色々と動画をアップしていました。ある女優さんも、自分で前髪を切る動画を約40分間配信していました。担当の美容師さんともNETでつながっている様子で、「そこは、もっと斜めにハサミを入れて」などとアドバイスを受けながら切っていました。

こんなカウンセリングやご相談などを、テレビ会議システムで行う近未来が予想されます。『毎週木曜日の夜9時から30分間、当店がお送りする「食の豆知識」が始まります。アクセスしてね』そんな日が来るのではないのでしょうか。

お互いに、インターネットの勉強も始めてみましょう。



A f t e r コロナの世界では、食文化もホームパーティなど自宅での食事会の比率が増えるのではないのでしょうか。コロナ騒動の最中、仕方なく「テイクアウト」を始めた店舗も、これを機に継続される事を検討されてはと思います。

何故なら私個人はこう考えます。

コロナ騒動が落ちついて、しばらくは「クルーズ船などは乗らない」気がするのです。ダイヤモンド・プリンセス号やアメリカ空母の実態を見せつけられると…あんな風に2週間も船に閉じ込められた姿を見ていると、今でも何か怖くて…。



- ・同じ様に、外食に対して以前よりも抵抗感は残るのではないかな。
 - ・また、自宅での食事会に慣れて「意外に楽しいジャン」という人達が増えてゆくのではないかな。
 - ・自宅でのホームパーティの楽しみ方を知り、ひょっとしたらそれを複数の家庭とインターネットで接続して盛り上がる、そんな光景が始まるのではないかな。
- ・・・コロナ後の世界はそれが当たり前になるかも知れません。



現に、私の80代の知人の中には、タブレットでNET接続して講話を聴いておられる方が、何人もおられます。

この際、「テイクアウト」や「デリバリー」も検討課題として意識してゆく、ことが必要でしょう。消費税も軽減税率適用だし、ある種の追い風ではあります。

コロナ後の世界がどうなるかは未だハッキリとは分かりませんが、間違いなく言える事は、これを契機に社会の在り方が根底から変化してゆく事は確かです。

皆さんが口をそろえて言われています。

私達も、それを見極めて後れを取らないようにしたい、と思う今日この頃であります。

今、自宅にこもりきりだった事による「コロナ太り」が深刻です。また蓄積されたストレスも溢れんばかりです。お客様には、その解消法も発信しましょう。食の情報もお伝えしましょう。その上で、『当店にご来店されて、当店の空気を吸って、思いっきりリフレッシュしませんか?』と呼びかけましょう。